



弁護士深草徹の「ここがポイント」

立憲主義崩す国家緊急権 ゆるせない “お試し改憲”

安倍政権は、憲法 9 条の解釈改憲を強行し、「戦争法」によって、集団的自衛権行使と海外派兵に道を開きましたが、一息つく間もなく、いよいよ明文改憲に踏み出そうとしています。とは言っても、いきなり本丸の 9 条に手をつけるのは、さすがに国民の抵抗が大きいと見て、さしあたりは“お試し改憲”で様子見の一手。災害やテロなど、緊急事態において国民の安全を守るため、などと口当たりのいい口実をもうけて、国家緊急権に関する条項を憲法に盛り込むことを目論んでいます。



お試し改憲とやらで、国民を憲法改定になぜさせる、などという手法自体、許し難いことですが、この国家緊急権条項自体、実際には戦争を想定し、戦時や準戦時において、憲法の停止と政府の専断にお墨付きを与え、立憲主義を掘り崩すものです。戦前の日本やナチス・ドイツなど軍事独裁国家は、国家緊急権によってもたらされたもの、と言ってもいいでしょう。

災害やテロなど緊急事態には、災害対策基本法・災害救助法、自衛隊法、警察法など、憲法の下位にある法律で対処できます。国家緊急条項を憲法に盛り込む必要など、さらさらありません。

(九条の会.ひがしなだ共同代表)

2000 万署名に大きな広がり

3 月 21 日「学習・交流のつどい」も



戦争法（安保法制）の廃止を求める 2000 万署名が、大きな広がりをみせています。「戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会」の呼びかけに応じて、会報に同封して送ったところ、さっそく昨年未までに「孫たちの将来を案じるお婆ちゃんの会」から、コピーした用紙で 3 回にわたって 100 筆近い署名が送られてきました。地元の西宮や京阪神エリアは言うに及ばず、東京・静岡や広島方面の住民も多数、

署名しています。署名用紙に返信用封筒を添えて、多数の友人・知人に送ったところ、「2000 万署名とは凄い」と、思いもしなかった人からも、自分で切手を貼って送り返してくれた例もあります。

住吉エリアでは、弁護士 9 条の会が作成したカラー印刷の署名用紙が好評。3 月 21 日（月、休）午後 2 時から、東灘憲法共同センターが、東灘区民センターで「2000 万署名 学習・交流のつどい」を開催し、目標総達成・戦争法廃止に向けて、“ラストスパート”をかける構えです。

特別企画「医療から見た昭和史の真実」 川島龍一・県医師会会長がビジュアルに講演 “立ち見”も出て、超満員の大盛況

史跡戦跡めぐりの会と共催した、九条の会・ひがしなだの特別企画「医療から見た昭和史の真実」講演会は、1月11日(月、祝)、東灘区民センターで行われ、“立ち見”多数、超満員の大盛況となりました。川島龍一・兵庫県医師会会長が、当時のニュース、ポスター、映像などビジュアルで豊富な資料を駆使し、「戦争と医療」を切り口に、平和と民主主義を縦横に話るとあって、埼玉県や岡山県など遠方からの医療関係者も多数来場。兵庫県医師会の会報「パルス」など、用意した資料が大幅に不足して、後日、取り寄せて届けるなど、嬉しい悲鳴があがりました。



川島先生は、戦争する国づくりへと暴走する安倍政権の危うさにも触れ、「戦争になると、軍事目的がいかにか優先し、医療にどうということが起こるか、戦前の出来事から感じ取ってもらい、壊されようとしている憲法についても考えていただきたい」と強調。また、マイナンバー制度に健康保険が組み込まれると、究極の個人情報である医療関連情報の国家集中管理につながる危険性についても、言及されました。

なお、今回は諸般の事情を考慮して、参加費はカンパ制としましたが、多額の募金が寄せられ、九条の会へも貴重な寄付をいただきました。厚く感謝し、有効活用を誓って、御礼とさせていただきます。

平和随想

『肉を食べても平和主義』

喜久山大貴

「きのうは肉を食べました。それでも私はベジタリアンです」

私が大学に入ってしばらくして、ある人に教えてもらった言葉です。

できることをやる。今日はやすむ。野菜を増やそう。それでも目指すところは、りっぱに脱肉食である。そんな資格を問わない、ゆるやかな運動や社会的連帯が大切だ、というのです。

世界平和の実現について何か語ろうとしたとき、想像を絶する困難さを前に、初めは沈黙せざるを得ませんでした。でも、その届かない距離感こそ、改めて語るべきではないか、とも思います。

おいてけぼりに議論が進められる恐怖や、解らないものへの漠然とした不安を、だれかと共有すること自体が、問題提起でもあるし、身近な他者への配慮を丁寧に考えるだけでも、命の序列化に反対する足場を作っていくと思います。

たとえ日常レベルのゆるやかな平和運動でも、手の届く範囲を認め合いながら、ひとり、ふたりとつながっていけば、いつか途方もなかった距離をも超えていく、と信じています。

(第69期司法修習生、7月集会副実行委員長)



私のひとこと

行動すれば、運動は広がる

合田則子

私の所属する住吉地域9条の会は、2006年6月から毎月、第3金曜日を行動日と決めて、今年で丸10年になります。

行動日には、著名人9氏の九条の会カラーリーフ、住吉地域9条の会の案内、申し合わせ事項（下部に賛同署名欄あり）を封筒にセットして、各家庭を訪問します。

地域は、北は阪急の線路から、南は阪神電車まで。東は住吉川から西は御影との境まで。あと少しで、1戸建て住宅を1軒1軒、軒並み訪問したことになります。

約1時間の行動ですが、前回ポストインしたお宅へ、読んでいただけましたか、賛同していただけますかと訪ね、終了すればその隣のお宅へ。10軒から20軒ほどにポストインして、次の月に回収して回る、というやり方です。

ゼロの日もあるとはいえ、毎回おおむね2、3軒の署名を貰うのですが、憲法九条を知って貰うことに、力点を置いています。

昨年9月には、安保（戦争）法案が通って怒りや不安の声が多く、1回に5軒で署名を貰ったり、2000万署名の用紙を預かって貰える家があり、私たちが行動すれば運動は広がると励まされています。

（住吉地域9条の会）



九条の会訪問記（その48） 阪大OB・OG九条の会 「同窓会のノリ」で息長く 現役・地域との連携も視野に



主に1960~70年代の青春を共にした学生たちの自然発生的な同窓会、有り体に言えば“飲み会”を基盤に、「せっかく集うのだから、憲法を守る会にしよう」と、2006年7月、大阪大学中之島センターで発足しました。参加者は約80名。

年に2、3回の世話人会・交流会は、主に大阪、奈良など近畿地区での開催ですが、集まって来るのは富山、愛知、宮城、福岡、愛媛、香川・・・と、全国区型。当時の学生運動の複雑さを反映してか、その後の人生航路も多様ですが、「思想・信条を問わない」のが、基本。学者・研究者や教員、各地域で頑張っている人も多く、学習会の講師には、こと欠きません。野外活動では昨秋、神戸の旧居留地などを巡り、非核神戸方式を学ぶ企画も成功。幅を広げています。

ツイッターなども駆使して、現役世代や地域の会などとの連携強化を視野に入れつつ、世話人会を軸に今年は大学習会・総会の年、と張り切っています。

「憲法カフェ～国家緊急権バージョン～」 「独裁条項」の危険性を考えよう

坂本 知可

現政権は近々、はじめての改憲（「お試し改憲」）を目論んでいます。そのときに重要な争点となるのが、「国家緊急権」です。

国家緊急権（緊急事態条項）は緊急時に、権力分立を一時停止し、内閣に権力を集中させ、人権の制限を可能とするものです。

内閣による濫用の危険性が高く、「独裁条項」とも呼べる代物です。

皆さん、災害のプロ・津久井弁護士と一緒に、国家緊急権について考えてみましょう！

（ 弁護士 九条の会。ひがしなだ世話人）



1月9日開催の憲法カフェ
「国家緊急権」のテーマで

日時：3月20日（日）午後2時～午後4時

場 所：三宮・神戸市勤労会館405号室

講師：津久井進弁護士

参加費：500円

主催：あすわか兵庫（明日の自由を守る若手弁護士の会兵庫支部）



催し物案内

メディアを考える市民のつどい

2月21日（日）13:30～

兵庫県学校厚生会館（JR「元町」駅北）

「切り捨てられる福島は

平和憲法の故郷だった」

お話：坂本充孝・東京新聞福島特別支局長

参加費：1000円

問い合わせ：電話 078-351-0194

九条の会。ひがしなだ 戦争体験を語る会

3月5日（土）14:00～

東灘区民センター8階第1会議室

「戦争と原爆」～今も続く放射能被害

千葉孝子：芦屋市原爆被害者の会会長

参加費：500円

問い合わせ：090-7366-9420（中村）

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6

番 号 0217129

名 義 九条の会。ひがしなだ

署名の返送先

〒658-0063

神戸市東灘区住吉山手 4-15-13

中村陽一



★猫の目から見た幻の反戦人形劇映画「猫は生きている」の上映を目指す動きが浮上ります。実現させましょう。（田）
★安倍総理は、参議院選挙で「憲法改正」を公約に掲げる旨表明しています。何のための「憲法改正」なのか、しっかり見極めることが大切だと思います。（N）

編集後記